

学校再編地域協議会八景中学校区部会（第3回） 会議録

日 時	令和2年11月9日（月） 19時30分～21時40分
開催場所	まちづくり協働センター 多目的ホール
出席委員	池上 委員 高橋 委員 三谷 委員 嶋田 委員 田口 委員 木船 委員 小田 委員 四ツ岩委員 堀内 委員 菅野 委員 古田 委員 細見 委員
欠席委員	下中 委員 山口 委員 靱井 委員
事務局出席者	（教育長）鹿嶽 昌功 （学校教育部長）松下 修 （まちの再生部都市政策室長）小倉 正大 （学校教育部次長）外岡 明文 （教育総務課長）浅野 晋司 （学校教育課長）山本 直也 （教育総務課担当課長）上野 樹 （教育総務課主任）鈴木 さやか （教育総務課指導主事）松田 成行
議 題	1. 開 会 2. 第2回部会グループ協議の概要・・・資料1 3. 八景中学校区部会としての現時点でのまとめについて・・・資料2 4. 全体協議 5. 今後のスケジュールについて 6. 閉 会
傍 聴 人	12名

会議の概要

	<p>1 開 会 傍聴者の確認、交代委員の紹介（1名）、欠席および代理出席の紹介 －鹿嶽教育長 挨拶－</p> <p>2 第2回部会グループ協議の概要・資料1 －事務局より資料に基づき説明－</p> <p>3 八景中学校区部会としての現時点でのまとめについて・資料2 －事務局より資料に基づき説明－</p> <p>4 全体協議 －事務局より資料に基づき説明－〈協議結果（まとめ）は、別紙のとおり〉</p> <p>【課題1 めざす学校像について】 －事務局より資料に基づき説明－</p>
委員	<p>学校像については、国がある程度示すものなのか。市に裁量はあるのか。</p>
事務局	<p>基本的には学校ごとに学校長を中心に決めていく。三田には「三田の教育」という一定の方針があるが、その方針は国で告示されている学習指導要領にそって、定めているものである。それらを踏まえながら、めざす学校像やめざす子ども像を各学校で決めていくこととなっている。細かい国のしぼりといったものはない。</p>
委員	<p>三田市の方針というものが、前提としてあるということによいか。</p>
事務局	<p>その通りである。「三田の教育」という形で毎年、学校、保護者、市民の皆さまにもお示ししており、それがベースとなる。</p>
委員	<p>2校の統合に際して、今まで以上に素晴らしい学校になることを希望するのは当然のことであるが、今、2校でどういふことをめざして具体的に取り組みをされているのか。「今以上に」ということは、今のレベルがどれぐらいなのか、どんな特色があるのか。これから、兵庫県下でも有数の素晴らしい学校になるのかどうか。</p> <p>今までオブラートに包んでしまっているから、雲をつかむような話である。具体的に特色のあることをどれぐらいしているのか教えてほしい。</p>
委員 (学校長)	<p>本校がめざしている学校として、まず、「人権尊重」人権を大事にするということを一に考えている。本校は以前、特別支援教育のセンター校であったという経緯もあり、特別支援学級が大変多い。今年度5学級、17名の生徒が在籍している。その子たちも含めて、みんなが互いに助け合って共生の理念で学校生活を送れるよ</p>

	<p>う、そのことを一番の目標として取り組んでいる。</p> <p>その中でどうしたら、みんなが過ごしやすく、楽しい学校になるかを考え、まず、バリアフリー、ユニバーサルデザインということで、例えば、授業をする際にも、「誰もがわかりやすい」というところをめざす。まだまだ出来ていないところはたくさんあると思うが、常に教職員が課題意識をもって進めているところである。</p>
委員	<p>人権尊重とおっしゃったが、八景中学校では「いじめ」「不登校」は皆無ということか。特別支援学級の生徒は一緒に学校生活を送っているということだが、その中で他の生徒と一緒にどういうことをされているのか。また、「誰もがわかりやすい」とはどういうことなのか教えてほしい。</p>
委員 (学校長)	<p>いじめについては、残念ながら皆無ということではない。我々は未然防止、早期発見、早期対応をめざしてやっている。いじめゼロをめざして、教職員の共通認識を図るといったことを進めている。</p> <p>不登校についても皆無ではない。学校でも家庭訪問等を繰り返しながら対応をしているが、学校だけではなく、家庭、地域の皆さんの力もいただきながら進めていけたらと思っている。学校に来ないことがいけないことではないので、ICTを使って、あるいはリモートで教育をしていくということも、将来的にはできたらということも考えている。一人一人、個別の対応を考えているところである。</p> <p>特別支援学級の生徒は、1週間30時間の授業のすべてを特別支援学級でしているわけではない。交流学級（自分が所属している通常学級）で同じ授業を受ける場合もあるし、行事などは常に一緒にやっている。それぞれの特徴に応じて、支援の必要な時には支援をして、その子の苦手な部分を補っていく、また得意な部分を伸ばしていくということで、現在取り組んでいるところである。</p> <p>「誰もがわかりやすい」ということについては、ユニバーサルデザインと言われるが、例えば教室で視覚的な支援をしたり、黒板の周りにたくさんものを配置しないといった、誰でも見やすい、聞きやすい、わかりやすいというようなことを意識した授業を、研修を重ねて行っているところである。</p>
委員	<p>今、校長先生から具体的な例を挙げていただいたが、それは学校像ではなくて、手段でしかないのではないかと思う。学校像を我々が決めることができるのかということが疑問である。例えば、最初に出た人権尊重とかそういうキーワードがめざす学校像になるのであって、そのために、英語教育とか、ICT教育という方法があるということだと思う。「ICTリモート教育ができる学校をめざします。」と言うと、それはどこの学校でもやっていることだと思うし、それが普通になっていくという話だと思うので、それを今さら掲げても、ということがあると思う。</p> <p>どちらかと言うと、めざす学校像というのは、もう少し抽象度が高いものにならざるを得ないものだと私は考える。</p>
事務局	<p>非常に大事な指摘を受けたと思う。ICTにしても、英語教育にしても、めざす</p>

<p>委員</p>	<p>べき学校像があつて、それに向かつていくために、ICT教育、英語教育などがあるのではないかということの指摘であつたと思う。</p> <p>掲げる理想像は確かに、抽象的でいいのかもしれない。でも、今までもずっと抽象的であり、抽象が抽象を重ねて、何の具体案も出てきていないという現状である。特色あると言いながら、全国的に見て秀でているかという、そうではない。みんながやっていることをやっていて、それを特色があると言っているだけである。</p> <p>それは違うと思つている。他の校区からでもそれをめざして参考にすることというものが秀でることである。他でもやっていることをやるのであれば誰でもできる。</p> <p>なぜ、具体的なことを教えてほしいかという、統合すればこれをやりますというようなものを教育者が提示していただき、それにより賛同するかどうかである。めざす学校というのであれば、本当の理想を掲げて、それを具体的にこのようにやっていきたいというものを示し、子どもたちが、将来三田に住んでいて良かったと思つてもらえるような、日本の中でも特に特色のある学校をつくってほしい。理想論かもしれないが、何か1つ素晴らしいものを三田に根付かせてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員が特色ある学校として考えておられることはあるのか。</p>
<p>委員</p>	<p>私は、科学のオリンピックでメダルと取るような学生が三田からどんどん出てほしい。英語・芸術でもなんでも良い。現在、インドがIT産業において秀でているのは、数学教育の取組が桁違いに素晴らしいからだ。自分が会社に勤めていた時に出会った中国・韓国・インドネシアの人は日本語がペラペラだった。また、会社でプレゼンする時も、圧倒的な技術を駆使して日本語で説明をする。世界はそのような状況である。あまりに小さいことしか考えていないと、日本は世界から取り残されてしまう。もっと教育に力を入れてほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>自分は委員交代により前回から参加している。過去の部会で「めざす学校像を明確にしてほしい」という意見があつたようだが、そもそもこの部会は「学校を統合するかしないか」を決める場であるはずで、「めざす学校像」について協議しないといけないのか。それは、統合が決まってから考えればよいのではないか。スピード感を持って協議を進めるためには、まず統合するか否かを出来るだけ早く決めるべきではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>確かに「めざす学校像」を今決めることは難しいと思うが、「統合ありき」ではなく、再編という議題の中で小規模校としての上野台中のメリットを取り入れたらいいのではないかという話の中で、この「めざす学校像」というテーマが設定されたと思う。「統合ありきではない」という意味で、このテーマについて協議することは意味があるのではないか。</p>

委員	<p>私は企業の中で採用および入社後の社員教育を十数年にわたり担当していた。その時に感じたのは、日本の大学を卒業した若者に対する期待がどんどん小さくなったということである。ゆとり教育を理由づけにする人もいるが、会社に応募してくる人の中には、中国・韓国の学生もいるが、動機付けなどに関して日本の学生とは雲泥の差がある。非常に意欲的で、自分が何を期待しているか、自分はどの点で優れているかなどをアピールする力が日本の学生とは全く違う。日本の学生は、就職マニュアル・面接マニュアル通りしか発言しないというイメージ。日本の中学・高校・大学を見ると、平均的な生徒に平均的なことを教えているとしか思えない。例えば、数学の得意な子にはどんどんレベルの高い数学を学ばせる、語学が得意な子には外国語教育をどんどんやる、芸術的な素養のある子にはその分野のことをどんどんさせるなど、全ての生徒に同じことを教えることから脱却していかないと、特色のある学校は作れない。それを、国の教育方針とすり合わせながら三田や八景・上野台中校区でやっていけるかを考えていかないと、特色は作っていけない。それをこの地域や保護者の代表から出すのではなく、教育現場・教職員から先に出してもらいたい。どこまでできるかは次の問題で、まず教育者・教育行政担当者・教職員からアイデアを出してほしい。保護者・地域代表にそのことを求めることがおかしい。</p>
事務局	<p>国が学習指導要領を決めており、公立校が自由度の高い教育を行うことは難しいが、出来る範囲の中でどのような特色を出せるのかを考えていきたい。</p>
事務局	<p>学校がめざす形について、まず教職員が考えていくのは当然のことである。これまで、学校の教育方針について学校だけで考えていたが、今は保護者や地域の考え方をきちんと反映させ、共につくっていきこうという流れになっている。具体的な学校像をこの場で協議するのは難しいと思うが、例えば「三田に住んで本当に良かったと思える学校」「1つでも素晴らしい特色のある学校」というようなご意見を踏まえながら、学校が責任をもって具体的な学校像を保護者・地域に提案していくという方法を多くの学校で取り入れている。</p>
委員	<p>自分の子どもは今小学校2年生で、もしかすると統合校に就学するかもしれないという思いを持って聞いている。自分も八景中に通っていたので、今住んでいるところからは八景中に行くことが決定事項であり、引っ越しをしない限りは自分の子どもも八景中に行くと思うが、統合となった時に、親の思いや先生方の思いでこのような学校にしたいという理想像があると思うが、子どもにとってプレッシャーにならないかというのが一番心配。高い理想の学校像を掲げてもらうのはありがたいが、統合後の学校はすごくレベルが高くて行きにくいなどと思ってほしくない。私は、学力も大事だが、自分が中学校で一番思い出に残っているのは部活動だったので、そこで個性を伸ばしてほしいと思う。日本の教育としては海外の枠にとらわれないでやっていくのは難しいと思うが、限られた学校生活の時間の中で個性が伸ばせるのは部活動だと思う。小規模校だと人数が足りなくてできない部も生じるだろうが、統合校であればそのようなこともないと思うので、例えば他の学校にない部</p>

<p>委員</p>	<p>を作るなどを考えていけたらよいのではないか。</p> <p>私は、子どもの人数が一番多かった世代で、子ども同士の中である程度競争があるのが当たり前であり、学校の数がどんどん増えていった時代でもあった。その当時の子ども・親にとっては、学校間格差・教育レベルの格差があるのが当たり前だった。「あの学校に行きたい。そのためには引っ越しをしてもよい」と考える保護者がたくさんいた。自分の友だちの中でも、そのようなことがいくつもあった。特色があって、みんなが認める学校というのは、「あの学校に行きたいから三田に引っ越してくる」と思えるような学校ではないか。子どもにプレッシャーをかけたくないという意見もあったが、今の上野台中の規模では考えられないが、大規模校になれば、例えば、数学教育に力を入れるクラス、芸術に力を入れるクラスなどにクラス分けをすることも考えられるのではないか。ただ、それが公立学校で出来るかどうかはわからないが、そのようなことも考えてみればよいのではないか。</p>
<p>事務局(司会)</p>	<p>授業時間数などのこともあり、公立学校では、それはなかなか難しいと思われる。</p>
<p>委員</p>	<p>それなら、めざす学校像とは何なのか。ここで、めざす学校像を議論することは意味があるのか。公立学校だから自由度に制限があるというなら、ここでこのテーマで議論することは時間の無駄ではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今までの議論をキーワードとしてまとめると、「世界で通用するような人間をつくれぬか」「外国との競争力を伸ばすような教育を」「部活動など個性を伸ばせる教育を」などの意見をいただいた。基本的には、国で学習指導要領が決まっているので、日本のどの学校でも同じ教育を受けるということになっているが、各学校で力を入れるところについては、ある程度強弱をつけることはできる。先ほど言われた「世界で通用する人材を育てる教育」であれば、例えば、数学や芸術に加えて、ICT を活用した教育など、個別に最適化された学習ができるのではないかと考える。また、出来る子どもはどんどん進んでいけばよい、躓いている子は躓いているところをまず理解して次に進むというような教育環境も生まれてくるのではないかと考える。様々な子どもがいるので、それぞれの能力を最大限に発揮する、出来ないところは補う、そのような特色のある学校が出来るのではないかと考える。現在、教育委員会では「第3次三田市教育振興基本計画」を策定中であり、その中で今後三田市がめざす教育を示していきたいと考えているので、いただいたご意見を参考にして計画を作っていきたい。みなさんの意見を紡ぎながら、新しくできる学校の学校像というものを、次の段階で考えていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>学校の特色というのは、なかなか出せないと思うが、出せるとしたら資料にもある「コミュニティとしての学校」というのがキーワードになるのではないか。仮に統合された場合、学校がなくなったところは地域が集まる場所が1つなくなることになる。仮に新しい学校になったとしたら、勉強や学習ということよりも地域が集</p>

事務局(司会)	<p>える場所としての機能を付加すれば特色ある学校になるのではないか。地域コミュニティとしての学校を特色とすることも考えられるのではないか。</p> <p>様々なご意見をいただいたので、それを基にして、次回まとめ案をお示しし、協議いただきたい。</p> <p>【課題2 行政案やその他の方策について】 —事務局より資料に基づき説明—</p>
委員	<p>自分は行政案に賛成である。資料にあるように、八景中に3つの課題があり、それを解決するためには新設の中学校をつくるのが良いと考えている。</p>
委員	<p>会議録要旨の④に書かれていることは、私が一番危惧すること。各学校には避難所としての機能がある。学校が1つなくなるとすると、その核をどうするのかという問題が起こる。例えば、今災害が起こったとして、避難する場所がなくなるということ想像してほしい。代替となるものを整備し、地域の人に周知するということが必要である。先ほどコミュニティ・スクールという地域との関係を特色とする学校という意見があり、その通りだと思うが、自分が30年ほど前に三田に来てから、何が大変かという今まで核となっていた自治会からどんどん退会される人がいる、まして京阪神方面に仕事に行く人はどのようにして地域とコミュニティを取っていくのか。様々な話の場を提供しても参加してもらえない、大切とは思っているのかもしれないが、その片鱗すら感じられないのが実態である。学校も一緒にと言いながら決まったことしかしない。世の中は決まったことだけをすればことが運ぶというものではない。常にイレギュラーなことが起こり、その対処に追われるのが現実。どうすれば解決するのか、知恵を絞るしかない。それが大変な労力であることを知ってほしい。</p> <p>私は、少人数での教育をやってほしいと思っているが、多くの人間が集まらないと出来ないこともあるので、それはやむを得ないと思っている。自分は山の中の十数人の学校でも構わないと思う。その中でしかできないことがあり、それを伸ばせばよい。多数のところは多数で、少人数のところは少人数でも良いと思っていたが、この協議の中で多数でいろいろなことをさせてあげたいという願いがあるので、それもありがたと思っている。問題は、やり方である。自分のコミュニティでも課題解決のため取り組もうとしているが、すぐにはできない。自分は松が丘校区なのだが、行政案について地域の保護者に聞いてみたら、今よりも学校が近くなるので良いという意見が多かった。それを踏まえて、自分は行政案に賛成している。ただ、その中身についてはもっと議論し、みんなで作り上げていくことがコミュニティになるのではないか。それをぜひやってほしい。</p>
委員	<p>私も、基本的にはいろいろな条件付きではあるが行政案に賛成。1つは、教育の多様性は、ある程度の規模があつてこそ生まれるものであり、その中で選択肢を増</p>

	<p>やすことができる。学校も一律にこのような特色があるということではなく、この面では伸ばしていける、この不得意な面を克服できる、保護者や生徒一人ひとりにとって選択肢が多い方が良い、そのためにはある程度の規模が望ましいと思っている。条件付き賛成というのは、一番大きいのは場所。通学の問題、これがある程度見えてこないと最終的に賛成とは言い切れない。今の八景・上野台の中間の場所のどこかになると思っているので、反対する理由がない。</p>
事務局(司会)	<p>上野台中部会で「松が丘・三輪を上野台中校区に変更する案はどうか」という意見があったが、この案についてはどう思われるか。</p>
委員	<p>行政案は、通学の距離が近くなるので大変ありがたい案だと思う。ただ、松が丘も小規模校なので、いきなり大規模校に行くよりも、慣れるために一旦上野台中に行き、小規模校同士のつながりを作った上で、統合校に行けばよいのではないかと意見も聞いている。</p>
委員	<p>三輪校区としては、場所がまだ確定していないので、あまり言えることはないが、上野台と八景の中間よりも上野台寄りという話が出ているので、特に問題はないと考える。それよりも、八景中の課題が解決しないということが、我々としては一番の問題であり、それが解決されるのであればよいのではないかと。</p>
事務局(司会)	<p>八景中校区としては、まず八景中の課題を解決し、その上での交流であればということではどうか。</p>
委員	<p>行政案の場所について、自分としては明神窯の辺りだといいかと思う。子どもが通学する上で、一番安全な場所に建てるのが最善だと考える。</p>
事務局(司会)	<p>仮に三輪の子どもが上野台中に通うとなると何百人もの子どもが上野台への坂を上ることになるが、それについてどう考えるか。</p>
委員	<p>あの坂は凍結しないのか。もしその心配がないのであれば、歩道を広げるなどの施策は必要と思うが、上りでしんどいからということは考えなくて良いのではないかと。今の八景中の場所だと自転車通学の人数が多いと聞いているので、その坂の辺りに新設すれば、自転車通学の人数も減るのではないかと。</p>
委員	<p>「三輪を上野台中校区に」というのは、場所と通学路の問題がある。坂を上るということは当然あるが、兵庫中央病院の辺りまでは歩道の幅が広いが、自動車学校から上野台中までの間は歩道がないような状況である。その道路を広げようという話がかかなり以前にあったが、地権者との関係でそれが出来なかったと聞いている。下から上野台中に上がっていく中で、結構車の量が多く、尚且つ歩道がない所があるということ解決しないと、賛成とは言えない。</p>

委員	<p>「松が丘・三輪を上野台中へ」という案について協議されているが、この案について保護者で話をされているのか。私たちは、行政案については地域の方に説明し意見をもらっているが、この案については地域で話し合っていない。学校からその案について保護者に話をされているのならいいが。私たちは、この案について地域に提案していけばいいのか。時間がどんどん過ぎていく。幼稚園の再編についても提案されて、おかしいのではないかという意見が出ているという話も聞いている。検討委員会なので、みなさんに諮られるのは良いが、そこまで全体でこの話をするのかどうか、それについてどう考えているのか。もし意見を聞くということなら、持ち帰り地域の意見を聞いてきたい。</p>
事務局	<p>今4つの案とっているのは、以前の協議会において「行政案以外の案はないのか」という意見があったので、行政案を決定するまでに検討した案としてお示しをした。資料1-1にあるように、上野台中部会において、「松が丘・三輪を上野台中校区にする案について、地域に賛成する声が多い」ということが出たので、八景中部会としてはそのことも含めて検討できるのかどうかということをお聞きしたかったということである。地域・保護者のみなさんに一度聞いていただくということも1つの方法かと思う。</p>
委員	<p>一番最初にもらった資料に基づき、行政案について地域のみなさんに説明し、意見を聞いた時に、特に異論はなかったもので、これで話を進めることにした。他の案についても提案されたということも承知しているが、それを蒸し返すのか。1つの案として検討したが、やはり行政案が良いと考えているということを事務局は言っているのではないのか。それなら、その方向性でいけば良いと思う。もう一度みなさんにゼロから考えてくださいということにするのか。</p>
事務局	<p>おっしゃる通り、事務局としては行政案が最も良いという事で示しているが、上野台中の保護者からやはりこちらの案の方がよいのではないかという意見が出ているので、お聞きしている。</p>
委員	<p>それなら、この4案を持ち帰り、地域の意見を聞いてくるが。</p>
事務局	<p>参考までにみなさんの率直な思いを聞きたいということでお聞きしたが、この件については取り下げさせていただく。</p> <p>【課題3 新設校の場所、通学手段および通学の安全確保について】 —事務局より資料に基づき説明—</p>
委員	<p>事務局の説明の中で、「通学手段については、今後具体的に検討する」とあるが、それは統合の結論が出たあとに「再編準備会（仮）」を立ち上げ、そこで検討するという事になるのかということをお尋ねしたい。</p>

事務局	<p>その通りである。バスについても今すぐということではなく、場所、時期、生徒の状況が決まった上で、どのような経路で通学するのか、どこの路線バスを使っていくのか、そこで賄えないところについてはどのようにしていくのかなどについて、事業者と十分調整していかなければならない。もちろん場所が未定であっても、このような課題があるということで協議は進めていくが、具体的に細かい部分まで決めようと思えば、準備会での協議となってくる。現在のバスのダイヤが部活や学校行事の時間に合わないなどの課題もあるので、今後調整していきたい。</p>
委員	<p>通学手段の確保というのは、生徒にとっても保護者にとっても大きな問題である。この問題を準備会でするよりも、再編の結論を出す前に具体的なものを示していかないと統合に賛成・反対という意見にたどり着かないのではないかと。基本方針が出てから2年余りが経過しており、今後検討するというのではなく、「通学の時間帯には、バスを1時間に2～3本出す」「それが無理ならタクシーを借り上げる」などももう少し具体的に示してもらわないとなかなか結論は出ないのではないかと。</p>
事務局	<p>時間や路線を具体的にということだが、この再編については相当の期間が必要となり、今の時点で具体的に細かいところまではなかなか決めにくい。基本的な考え方としては、資料にあるように「教育活動に支障が出ないように配慮していく」「地域交通の確保に努める」「それができない時には通学バスを確保する」ということを基本的な考え方とすることをご理解いただきたい。</p>
委員	<p>前回まで保護者と地域とが別々に協議していたが、地域代表グループの中で「場所がある程度わからないと、賛否の判断ができない」という意見が出ていた。上野台中と八景中の間ということ意見が出ているが、間に武庫川や交通量の多い国道があることを考えると、ある程度場所の見当がつかないと判断のしようがないというのが今の正直な気持ちである。</p>
委員	<p>統合したら、今よりもバス通学の生徒が増えるのは間違いないと思う。その時に、行政としての出来る限りの支援をという話があったが、上野台中はすでに多くの生徒がバス通学をしているが、さらにそれが増える。バス路線の維持という話もあったが、生徒に対する補助に加えて、バス事業者への補助も出すつもりは行政にあるのか。場所については、ケースバイケースでなかなか意見はまとまらないと思うので、一番気になるのは、将来的な見通しも含めて保護者・バス事業者にも補助が出るのかということである。</p>
事務局	<p>現在、上野台中のバス通学生については遠距離通学費の補助をしているが、新設校になるとその通学距離が延びるという事は当然あり得る。バス事業者への補助については、現在「赤字路線の補填」という意味で補助しており、その改善の具合によって金額の増減があるかと思う。バスの時程が授業の開始時刻と合うのかどうか重要なところだが、それは今後の協議となる。そのためには、学校の位置などが</p>

<p>委員</p>	<p>関係してくるので、場所の選定と合わせて検討していくことになる。今日お聞きした「学校の時程に合わせてバスの便を確保する」というご意向については、きちんと持ち帰り、バス事業者と話をし、もしそれがかなわなかった時の方法も含めて行政として考えていきたい。</p> <p>通学手段については、まず生徒を第一に考えてほしい。おそらく全ての生徒の状況を見て、一番影響の少ない場所にもっていかれると思っている。路線バスについては、赤字補填がよいのか、通学バスが良いのかということも今後の課題となると思う。赤字補填だと経費がどんどん膨らんでいくと思うので、通学バスの方が将来的に良いかもしれない。生徒の部活動や行事、授業に支障がないようにしようと思うと、路線バスでは対応できないと思う。何が一番子どもたちにとって良いのかを考えてほしい。あとから「出来ないから」ということだけはやめてほしい。生徒が楽しく学校に行き、自分の好きなことができる、そんな環境をぜひ作ってほしい。</p> <p>【課題4 子ども・保護者へのケアについて】 <i>－事務局より資料に基づき説明－</i></p>
<p>委員</p>	<p>再編までの子どもへのケアについて、松が丘小の委員からの「大規模校にいきなり行くのは心配なので、上野台中へ」という意見を聞いて、自分にはなかった視点なので、なるほどと思った。小規模校から大規模校の中学にあがる子どもへのケアについて、重点的に考えた方が良いと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>現在の松が丘小6年が36名で、次年度以降は十数人になると聞いている。その子どもたちがいきなり大規模校に行きどうなるのかという事を考えると、そのような視点を持つ方がいることを心強く思う。今小学校に通う方からいろいろな形でヒヤリングをしてもらい、何が生徒にとって一番大切かを精査していただき、いろいろな仕組みづくりを段階を追って行ってほしい。今から何年後に統合中学が出来るから、何年前からそのようなケアをすればよいのか、スケジュールを立て、子どもたちが新しい中学校に楽しく入っていけるような形を作してほしい。それを準備会のようなところで十分協議してほしい。生徒に負担がないようによく考えてほしい。</p> <p>【課題5 その他】 <i>－事務局より資料に基づき説明－</i></p>
<p>委員</p>	<p>以前、各小学校の保護者にアンケートを取るという話があった。もしアンケートを取るなら統一のアンケート用紙で取らないと意味がないので、それを作成したいという話があったかと思うが、それはどの時期に作成し、配布すればよいのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今までの部会の中でアンケートについての意見がなかったので、今まで提示して</p>

	<p>いないが、委員のみなさんに同意していただけるなら、アンケートのたたき案を提示し、時期も含めて協議いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>アンケートの件は、おそらく3～4か月前に出ていた話で、今の時期となつては、「この協議会で概ねまとまった事柄について、みなさんの意見を聞く」というアンケートになると思う。前回、アンケートの意見が出た趣旨としては、出来るだけ幅広く意見を集めたいということだったと思うので、目的が変わってくるように思う。私たちが懸念しているのは、現在PTA役員を通して意見を聞いているが、それ以外の方には広くこの協議の内容をお知らせすることができていない状況だということである。</p>
<p>事務局</p>	<p>アンケートをとという意見があったことは承知している。現在、地域協議会を開き、部会に分かれて協議する中で、たくさんのご示唆をいただいている。私たちが気づかなかつたことも含めて、たくさんのご貴重な意見をいただいているので、八景中部会だけではなく、上野台中とも合同でアンケートを取る必要があるのではないかと思う。最初は幅広く意見をということだったが、ここまで部会の方でのご示唆をいただいているので、第3回地域協議会において2つの部会での協議を踏まえて「中間のまとめ」のような形で提示できればと考えている。ただし、これは2つの部会の意向もあるので、次の地域協議会において提案出来たらと考えている。時期がずれたことから、当初の目的とは違っているのは事実だが、この部会・協議会で議論いただいていることについて、1人でも多くのみなさんの意見を聞くことはできるのではないかと考えている。</p>
<p>事務局(司会)</p>	<p>今回は、本日いただいたご意見を含んで最終的な「部会まとめ案」をお示しし、ご協議いただきたいと考えている。</p> <p>5 今後のスケジュールについて —【次第】の記載に基づき、提案し、了承—</p> <p>6 閉会 —松下学校教育部長 挨拶—</p>